

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	<p>■P38、39「目標1 直接死を最大限防ぐ」 「1-3 土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり市域の脆弱性が高まる事態」 1 土砂災害対策</p> <p>土砂災害のリスクは盛土の有無に関わらず上がるので、傾斜地における太陽光発電設備の設置は全面的に禁止するくらいの規制を太田市独自にかけてもらいたい。大きな事故があれば取り返しがつかないし、周囲への排水での悪影響や田畑への土砂の流入も全国各地で起きている。現在太田市内でも傾斜地における大規模な太陽光発電計画に対する住民の反対が起きているが、現行の法令では近隣住民の意見では歯止めにならないため、太田市の条例で安全安心を担保していただきたい。</p> <p>(参考) 現在、藪塚地区土砂災害警戒区域(特別警戒区域も少し)に隣接する形で太陽光発電設備設置計画が進められています。台、滝之入地区の住民アンケートでも約9割の人々が反対しています。</p>	<p>「1-3 1 土砂災害対策」では、土砂災害に関する全般的な取組みとして、関係機関等との土砂災害情報の共有・収集、予警報や避難情報等の伝達について対応方策(推進方針)をまとめました。今後も、防災マップ等を活用して、土砂災害(特別)警戒区域や土砂災害の前兆現象、避難行動等について周知を図ります。</p> <p>太陽光発電設備の設置については、「太田市環境、景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定しています。自然環境、景観等と太陽光発電設備の設置との調和が特に必要な地区を特別保全地区として指定し、特別保全地区内の事業に許可基準を設けています。</p> <p>上記条例以外の太田市独自の規制等については、国や県の動向をみながら情報を収集し、研究していきます。</p>
2	<p>令和元年東日本台風(台風19号)では、太田市でも牛沢町、下田島町をはじめ、かなり被害が発生した。災害、地震は、忘れたころにやってくるというのは昔の話で、今は忘れないうちにやってくる。気候変動、温暖化も影響しているのか、想定外が常識になっている。</p> <p>首都直下地震、太田断層もあり、安全といわれた群馬又は太田にも発生が懸念され、防災・減災対策が急務である。もっと温暖化対策と同様、深刻になり具体策を構築しないと大変な事になります。太田市国土強靱化地域計画遅かりしです。リスクシナリオ対応整理急務です。訓練もできるだけやる事も大切です。</p>	<p>太田市国土強靱化地域計画の策定にあたり、近年の地震や風水被害などをふまえ、市街地浸水や土砂災害、感染症の大規模発生といったリスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)を29項目設定し、必要な対応方策(推進方針)をまとめました。</p> <p>また、各施策に係る個別事業や各施策のKPI(重要業績指標)を設定したアクションプランを策定し、各事業の進捗を管理しながら、ハード対策、ソフト対策について効果的に施策を推進していきます。</p>

<p>3-1</p>	<p>この「強靱化計画」の上位にあるのが「第2次太田市総合計画 2017～2024」とありましたので、そちらも閲覧しましたところ、防災面で直接的に計画実行されているのは、食料と飲料水を備蓄と、逃げ遅れてしまう心配がある人を自己申告で防災登録してもらうこと、の2点でした。防災と関連づけて強化を要望したいのは、農業関連の事業です。平素は「買ってくれればいい」で済むものが、被災で一転、欲しくても必要でも買えなくなります。</p> <p>強靱化計画の概要版では「3.重点化するリスクシナリオの選定」(概要版5ページ)では災害特性(略)を踏まえるとともに、影響の大きさ、緊急度、行政の役割などを考慮し、14項目を重点化した、とあります。</p> <p>重点化から外された項目に「有害物質の大規模拡散・流出防止」(リスクシナリオ5-2、7-2の項)「汚水処理施設等の機能停止」(リスクシナリオ6-3、8-1)(概要版7ページ)があります。これこそ、もしも起きたら、共助や自助ではどうにもならないことではないでしょうか。この項目を重点化から外した理由を知りたいです。</p> <p>平素からの備え、という意味では、姉妹都市や友好都市的なつながりで災害時に相互に協力するため防災情報の交換を目的に、複数自治体と交流する、という項目はつくれませんか。もしくは、既存の非営利団体の活動に追加してもらい、それを支援するなど。</p> <p>私は民生児童委員なので、民生の全国連合会や社会福祉協議会の会報が毎月配付されます。最新号は群馬県内の福祉支援活動の特集が組まれてました。別枠の青年会議所へのインタビューでも災害時の対応を問うています。各団体で、対策していても、それぞれがバラバラに機動すると、災害時は混乱することが多いように思います。横のつながり市で束ねて防災への備えをふだんから共有しておくのも大切ではないでしょうか。</p>	<p>本計画では、「第2次太田市総合計画 後期行動計画(2021年度～2024年度)」と整合を図るため、「防災対策の推進」以外の分野からも、強靱化に係る施策をまとめました。農業に係る施策もP82「5-3 食料等の安定供給の停滞」等に整理しました。</p> <p>重点化するリスクシナリオについては、各リスクシナリオに対して、リスクを回避するための対応方策を設定していますが、その中でも、国の国土強靱化基本計画や群馬県国土強靱化地域計画等の重点項目を考慮しながら、施策の優先度の高いものを重点化項目に選定しました。それ以外の項目についても、アクションプランの中で個別事業や各施策のKPIを設定し、進捗を管理しながら効果的に施策を推進していきます。</p> <p>災害時の相互協力については、自治体や企業、団体等と災害時の応援協定を結び、応援内容や手順等を定めるなど体制を整備しています。災害時の応援協定に係る施策をP46「2-1 6 災害時受援計画・体制の整備」として整理しました。</p>
------------	--	--

<p>3-2</p>	<p>犬や猫その他ペットを飼う世帯の避難が気がかりです。東日本大震災時の報道から、災害に見舞われたときの困難を痛感しました。</p> <p>個人的には、国の「防災基本計画」や環境省のガイドライン、そして自治体ではペットとの「同行避難」を原則としていることを、調べて初めて知りました。</p> <p>たとえば、ペットとの同行避難の周知なら、動物愛護センターやNPO、動物病院をつないで、飼い主さんへ啓蒙活動を行うなど、追加していただけないでしょうか。</p> <p>現段階で太田市ホームページには、ペット同伴避難先として、車中避難先の公共施設の駐車場が市内7箇所、約1,000台スペースが提示されています。また外部リンクも貼られています。が、ペット同伴の一時避難先に公共の駐車場が「指定」されていることをあらかじめ承知している市民はどれくらいいるのでしょうか？</p> <p>防災マップの周知ですが(重点化リスクシナリオ1-2、1-3項 概要版6ページ)避難所まで、当事者住民がマップを見ながら、歩いて確認したり、行政との意見交換をしたり、の手間をかける必要を感じます。スタンプラリー風の地味で期間を区切ったキャンペーンは出来ないでしょうか。</p> <p>重点化リスクシナリオ1-1(概要版6ページ)公園・緑地の整備と、2-1、2-5に関連して、要望したいのが、地域で自主防災訓練を推進するため、自治会や地域団体単位で申し出があれば、公園内で(たとえば)煮炊きを許可することです。</p> <p>日常生活が便利で安全すぎて、マッチのつけ方も、火の始末のルールもよく知らない人が増えました。ふだんの生活で出来ないことを、非常時に出来るはずがありません。</p> <p>キャンプ場でそれを体験させてもらえる子はひと握りです。ボーイスカウト、ガールスカウト団体の規模も縮小激減していて、停電、断水などのトラブル中も、落ち着いて行動するため、地域で頼れる存在がだれなのか、そもそもそういった方がどこに居るのか、わかってなくなっています(自治会長さんたちに全てを期待するのは過酷です)。</p> <p>防災をネガティブな枠から解放し、各自の得意を発掘して、楽しく防災に備える。これからの世代である10代の子どもたちに、避難訓練だからではなく、面白そうだからやりたい、参加の意欲を刺激するプラットフォームを作ってほしいです。</p>	<p>ペットとの同行避難の周知については、市HP以外にも市広報誌や出前講座、エフエム太郎等を活用し周知していきます。今回いただいた意見も参考にさせていただきます。</p> <p>防災マップの周知については、地区や団体、学校等で「出前講座」を実施し、防災マップの説明や避難所等の周知をしています。その中で、平時から家族で避難経路や危険箇所等を確認しながら歩く「防災さんぽ」を推奨しており、行政区単位の防災訓練の中で実施している地区もあります。また、避難所の開設状況・混雑状況がスマートフォンやパソコンなどを通じて確認できるようになっています。</p> <p>【太田市避難所開設状況】URL: https://ota.hinanjo.dmacs.jp</p> <p>1)避難所の開設状況 2)避難所の混雑状況 3)避難所までの経路表示</p> <p>地域の防災訓練で公園を会場とする際には、行為者・行為内容等を記載した「行為許可申請書」を事前に提出していただき許可を受けてください。</p> <p>火の始末等を十分に注意していただくことで、煮炊き等の火気使用も可能です。</p> <p>防災訓練の推進につきましても、災害時に適切な行動がとれるよう、住民参加型の実効性のある訓練を実施し、防災意識の高揚を図っていきます。</p> <p>なお、各地区の自主防災組織に対して、訓練費用や防災リーダー育成のための防災に関する資格取得経費等の補助事業を実施していますのでご活用ください。</p>
------------	--	---